

平成27年度第3回大津町振興総合計画等評価委員会 議事録（保存用）

1. 日 時：平成28年1月19日（火）午後1時30分～午後15時00分

2. 場 所：大津町役場別館 電算室3階 ミーティングルーム

3. 議題等

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 議事

1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

土木部（都市計画課・建設課・下水道課・工業用水道課）

2) その他

4. 出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） ※委員長	明石 照久	出席
大津町民生委員・児童委員協議会会長 ※副委員長	豊住 幸夫	出席
大津町企業連絡協議会会長	鳥栖 彰孝	出席
大津町区長会会長	宇野 馨	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	出席
公募委員	大畠 照雄	出席
大津町教育委員	首藤 誠治	出席
公募委員	緒方 正男	出席
J A 菊池大津中央支所	瀬川 友次	欠席
障害者関係団体（大津町身障者福祉会）	中村 静次	出席
商工会（商工会理事・総務委員長）	西川 秀貢	欠席
肥後おおづ観光協会	山下 和貴	出席
公募委員	与古田 公子	出席

5. 委員会傍聴人 0名

(1)開会

(2)委員長挨拶

(3)議事 1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

都市計画課 (P 1～3、14～24について) 都市計画課長より説明。

委員長 ありがとうございます。都市計画課関係の事業の説明をいただきました、全般的な話から、道路、公園、住宅と多岐にわたってご説明いただきましたが、これから質疑に入りたいと思いますが、基本事業が複数にまたがっておりますので、ご質問いただく場合は、どの事業に関わる質問なのか、ページをお知らせいただき、ご意見・ご質問をいただきたいと思います。

鳥栖委員 4-4-1 駅周辺の交通システムの整備についてですが、駅前楽善線が開通し時間的にも短縮され非常に助かっており、また、企業の駅利用についても伸びているのではないかと思います。駐輪場についてはかなり整備されましたが、駐車場を整備するという考えはあるのでしょうか。

都市計画課 現段階で、駐車場の整備について明確にご回答することはできませんが、一般的にはオークスプラザ駐車場を利用されている方が多いのではないかと考えております。

鳥栖委員 実は先日、大分へ1泊出張でJRを利用する際に、JRに駐車場を聞いたところ、イオンを案内されたので、イオンの駐車場を利用したところ、貼紙をされてしまいました。他にも4泊、5泊で止まっていると貼紙をされた車がありましたが、これは空港ライナーを利用されている方ではないかと思います。この様な状況がありましたので、役場の事業において駐車場を整備する計画があるのかお尋ねしたところです。

宇野委員 オークスプラザの駐車場に関して、公用車駐車場が3分の1程度を占めているので、もっと駐車場を整備することで、住民も利用しやすくなるのではないのでしょうか。

都市計画課 複数の課に関係する内容とは思いますが、公用車については4列程度を占めており、残りを来庁者用ということで利用可能としております。JR利用者にオークス利用を推奨すると、来庁者が駐車できなくなると考えられます。

宇野委員 だから、役場が駐車場を整備すべきだと思います。整備をしないのであれば、公用車駐車場を一般利用に開放すれば、住民の方が利用できるようになるのではないのでしょうか。新しい駐車場を整備するのは難しいと思いますので、既存の駐車場をもっと利用しやすくするべきではないのでしょうか。

都市計画課 都市計画課の一存で回答することはできませんので、関係各課と協議はさせていただきますと思います。

緒方委員 公園の整備計画があるということですが、菊陽町では「鼻ぐり公園」を整備され、素晴らしい公園となっておりますが、これに見習って、他市町村に誇れるような公園を整備できるように計画に盛り込んでいただければと思います。

都市計画課 現在行っておりますのは、公園長寿命化ということで、新たに公園を整備するという計画ではなく、既存の公園に対して少ない経費で長く利用できるようにするのかと

ということになります。遊具等について、新規に整備するのは難しいということ、県から聞いております。既存の遊具を撤去して新たに整備することは可能と聞いておりますので、国庫補助等を利用しながら、「鼻ぐり公園」のような公園を整備できるよう進めたいと思います。

与古田委員 同様に公園についてですが、公園が老朽化していると記載されておりますが、以前から老朽化しているとされており、調査を実施していると回答されております。新たな整備が難しいのであれば、既存の公園を安心・安全に利用できるように整備していただきたいと思います。老朽化した遊具の数は把握されておりますでしょうか。

都市計画課 公園遊具については、2年に1度点検を行っており、翌年に修繕工事ということで、毎年何らかの整備を実施しております。なお、トイレが整備されている公園については、非常に古いところが多いので、まずはトイレ・遊具をメインとして、長寿命化で工事を行いたいと考えております。

与古田委員 点検について、2年に1回ということですが、老朽化しているのであれば2年に1回ではなく、毎年点検をしていただきたい。事故があつてからでは遅いと思いますので、2年に1回ではなく、毎年点検していただければと思います。

首藤委員 分かる範囲で構いませんが、イオン駐車場の北側に空港ライナー利用者のパーク＆ライドができるようになっているようですが、どこに申し込めばいいのでしょうか。

大畠委員 私が答えるのも変ですが、イオン駐車場の北側のパーク＆ライドについては、当初は県の事業でスタートしており、現在はイオンの商品券を3,000円分購入することで2週間程度利用できるという仕組みになっていたと思います。申し込みについては、イオンサービスセンターに行って、商品券を購入して申し込めば利用できたと思います。

豊住委員 4-6-1公営住宅の整備で、現在あけぼの団地を整備されておりますが、整備後は非常に住みやすくなりました。以前と比べると機密性が高くなっているので、外からの音があまり気にならなくなりました。ひとつ言えば、北側の窓をもう少し考えていただければ思いました。あと、整備計画が7～8年かかると説明されました。1年2棟整備しても全部で15棟ありますので、時間がかかるのは分かりますが、非常に住みやすくなる整備なので、早く整備できるのであれば早く整備していただければと思います。

都市計画課 ありがとうございます。しかしながら1棟改修するためには、かなりの費用が発生します。国庫補助事業で2分の1補助がありますが、国も財政難のため補助金自体も厳しい状況となっております。町としては、早く整備を行いたいと思いますが、2棟でも厳しくなる可能性も出てきております。しかしながら、最低でも2棟は整備していきたいと考えております。

山下委員 平成28年度から平成32年度までの5カ年間の北部・南部地区都市再生整備計画を策定し事業を進めるとのことですが、都市マスタープランも含め、都市計画のあり方の部分で、道路整備の計画があると思いますが、大津町の交流人口を増加させようとするときに、何が足りないのか。また、生活道路や観光ルートも含めて、回遊できる道路を考えていただき、大津町が観光の町になれるように、今後の整備計画に盛り込んでいただきたい。

都市計画課 北部・南部都市再生整備計画については、当初、ルートも含め観光をメインとした整備計画を国に対して申請しましたが、国も財政状況が厳しいため、当初整備計画から

かなりの事業が削減された内容で申請するよう指示があり、計画自体が縮小しております。なお、現在申請している内容では、南部地区では白川を中心としたサイクリングロードの案内板整備や江藤家住宅周辺整備など、北部地区では野外活動研修センターや矢護川コミュニティセンターを中心とした水田地帯を散策するルート等の整備などを申請しているところです。

大畠委員 4-1-1 秩序ある計画的土地利用の推進における成果指標等において、都市再生整備計画策定（北部南部）の達成率で、目標値 5,076 千円、実績値 5,076 千円で達成度 100%とありますが、事業内容がよく分からないので評価が難しい。数値では達成率 100%となるのは分かるが、事業に関する詳細な内容を記載していただきたいと思う。事業詳細が見えなければ評価するのも難しい。

都市計画課 成果指標等について、今後は事業内容が分かるように具体的に記載をするようにしたいと思います。

委員長 他にご意見・ご質問はありませんでしょうか。
（意見・質疑なし）

委員長 よろしいでしょうか。それでは他の課もありますので、ここで都市計画課関係を一度終了させていただきまして、建設課関係の事業説明をお願いしたいと思います。

建設課 （P4～13について）建設課長より説明。

委員長 ありがとうございます。建設課関係の事業の説明をいただきました、主に道路関係について、多岐にわたってご説明いただきましたが、これから質疑に入りたいと思いますが、ご質問いただく場合は、どの事業に関わる質問なのか、ページをお知らせいただき、ご意見・ご質問をいただきたいと思います。

大畠委員 4-3-1 生活道路の整備・改善において、成果指標の数値をどこから持ってきたのか不明な点がありますので、教えていただければと思いますが、成果指標において「橋梁の長寿命化対策の実施率」とあり、平成 25 年度が 132 となっており、平成 27 年度の目標値が 132 となっておりますが、132 という数値はどこを見ればわかるのでしょうか。また、本年度の評価を行っているのですが、平成 27 年度の実績値も達成度も記載されていないため、評価ができない状態となっておりますので、どのように評価した方がいいのか、教えていただければと思います。

建設課 成果指標として「橋梁の長寿命化対策の実施率」としており、当初は目標値 20 としておりましたが、当時は 151 橋とカウントしており、その内 19 橋は国の指示により早い段階で実施しておりましたので、平成 25 年度に残り 132 橋の基礎調査を実施し、全 151 橋が終了しております。

明石委員長 確認ですが、平成 25 年度に 132 橋の基礎調査が終了したとのことですが、平成 27 年度の目標値に 132 が上がっておりますが、平成 27 年度の目標値 132 については、平成 25 年度に終了した 132 と、調査内容が違うということになるのでしょうか。

建設課 平成 27 年度の目標値が 132 というのではなく、最終年度の目標値が 132 ということです。最終目標値の 132 に平成 25 年度に達したということになります。

緒方委員 国道 57 号の整備もかなり進んでいるようですが、国道 57 号の交通状況をインターネ

ットで確認することができるようなWebカメラ等を設置することはできないのでしょうか。

建設課 国道57号については、南阿蘇村の立野と阿蘇市の滝室坂にカメラが設置されておりますが、まずは町内区間の4車線化整備の早期完了をお願いしているところです。今後、カメラの設置についても要望を行って行きたいと考えております。

豊住委員 4-3-1生活道路の整備・改善に、平成27年8月に大津町通学路交通安全プログラムを策定とありますが、これは7つある学校区全てにおいて調査されたうえでプログラムが策定されているものと思いますが、人口が増加している校区での通学路整備等の計画が盛り込まれているものと思いますが、このプログラムはいつから閲覧することができるのでしょうか。

建設課 これについては、警察関係、国道関係、県道関係、安全施設関係などのグループで対応することになっており、対応結果については公表するとなっておりますが、どのような形で公表するのか、建設課では承知しておりません。

豊住委員 各校区で危険箇所マップを作成し提出してあると思うのですが、どの程度プログラムに反映されているのか見えないため不安だという意見がっております。

建設課 これについては、関係機関で組織された協議会のようなものが立ち上げられており、PTAや先生も含めて、現地調査が行われており、対応策が検討されたと思います。この中に歩道整備の要望等も報告されておりますが、用地等の関係により整備が難しいところもありますが、出来る限り対応はしていきたいと考えております。

宇野委員 それぞれの校区から歩道等の整備要望が上がっていると思いますが、全てが対応できるということではないということでしょうか。

建設課 通学路交通安全プログラム自体始まったばかりですが、ハード面をすぐに対応するというのは難しいので、建設課として対応可能な部分で、例えば、外側線をきれいにするなど対応策を実施して行ければと考えております。

建設課 先ほど、大津町通学路交通安全プログラムの閲覧がいつからできるのか。という質問がありましたが、既に町ホームページに掲載されているとのことです。

委員長 その他、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。
(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、建設課関係についてはここで終了させていただきたいと思います。次に下水道課の基本事業のご説明をお願いいたします。

下水道課 (P25～27について) 下水道課長より説明。

委員長 ありがとうございます。ただいま下水道課関係の説明をいただきましたが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

大畠委員 成果指標の下水道の整備率について、平成27年度の目標値が77.0%となっており目標数値は問題ないのですが、下水道を利用した処理方法と合併浄化槽による処理方法があると思いますが、成果指標の水洗化率というのは、合併浄化槽による処理も含めた水洗化率と解してよろしいのでしょうか。

下水道課 水洗化率については、公共下水道及び農業集落排水の対象区域における水洗化率にな

りますので、合併浄化槽は含まないということになります。

大畠委員 質問させていただいた意図として、合併浄化槽については年間の維持管理費が高額になるため、下水道を利用する町民と比べて、費用負担が大きいのではないかと思います。そうすると、同じ町民で下水道に接続できる地区とできない地区では、年間の支出額に大きな差がでるのではないかと思います。近くまで本管が来ている場合、どこまで町の負担で接続をしていただけるのでしょうか。

下水道課 近くに下水道の本管があり、少し離れているが下水道に接続したいという相談があった場合、公共汚水桝は町で設置しますが、本管までの接続工事費については個人負担いただいております。なお、合併浄化槽を設置し毎年のメンテナンス費用を負担するより、1回の工事費で毎年のメンテナンス費用が発生しなくなりますので、下水道に接続する方が増えてきております。また、説明において町設置の合併浄化槽の話をしてしまいましたが、個人で設置されている合併浄化槽については、維持管理費が高いということもあり、無管理・無清掃の方が多くなっていますので、これを無くすために下水道計画区域外の地区に町が設置・管理を行う合併浄化槽を設置するなどの事業を含めて、全体的な排水計画を100%にしたいと考えているところです。

委員長 他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、下水道課関係については、これで終了したいと思います。次に工業用水道課の基本事業のご説明をお願いいたします。

工業用水道課 (P28～29について) 工業用水道課審議員より説明。

委員長 ありがとうございます。ただいま工業用水道課関係の説明をいただきましたが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

明石委員長 ひとつお尋ねですが、赤字になれば大津町の一般会計からの繰り入れが必要になってきます。との記載がありますが、基本的に財務関する数値が記載されていないので、経営状況が分からないのですが、赤字は出ていないのでしょうか。

工業用水道課 現在のところ赤字は出ておらず、年間2,400万円程度の黒字で、積立についても2億4千万円程度あります。ただし、平成28年度に事業展開して井戸を掘削し建屋を建築しますので、積立が2億円程度は無くなると予想しておりますが、それでも赤字にはならないと予想しております。

委員長 他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、予定をしておりました議事は以上のとおりでございます。担当課につきましては、長時間にわたりありがとうございます。

委員長 それでは、本日はこれを持って終了とさせていただきます。皆様ありがとうございました。